

事務事業名	守矢史料館展示事業	事業期間	～	年度	係内番号	08
担当部署	生涯学習部	文化財課	博物館係（八ヶ岳総合博物館）	連絡先	73-0300	

政策番号	02	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度	高
			基本計画①	01	教育大綱	0301	社会教育の推進		
			基本計画②	02	生涯学習推進指針	0000	複数の柱にまたがる事業		
			実行計画	01	社会教育推進計画	0501	神長官守矢史料館の充実		

予 算 事 業 名	守矢史料館展示事業費	会計コード	01	款	10	項	05	目	09	事業	03
-----------	------------	-------	----	---	----	---	----	---	----	----	----

事務事業の概要
(簡潔にわかりやすく)
守矢史料館収蔵資料に関わる企画展を開催し、幅広い人に守矢文書を周知する。

現状と背景
(どうして)
守矢文書は通常、保存の観点から収蔵したまま、現品の写真展示となっている。そこでテーマを設けてそれに沿った企画展を開催し、守矢文書の重要性を認識してもらう。

目的
受益者 (誰のために) 来館者
対象 (直接働きかける) 史料館収蔵資料
意図 (どんな状態にしたいか) 多数の入館者を得たい。

手段・方法
(どうやって)
企画展の回数を年3回行い、企画展ごとに、ポスター・チラシを作成し、また、インターネットなどで告知し、企画展ならびに守矢文書の内容について告知し、展示する。

評価指標の作成	活動指標	行政が活動することで作り出すもの	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		1	企画展を何回開催したか	企画展回数	回	開催回数
	2	企画展来館者数	企画展来館者数	人	企画展中の来館者数	6,100
	3					
	変更履歴					
成果指標	成果・効果は何？		指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
	1	企画展来館者数前年度比	企画展来館者数	%	今年度企画展中の来館者数 / 前年度の企画展中の来館者数	100
	2	年間入館者数	年間入館者数	人	年間入館者の人数	12,000
	変更履歴	2019年度、成果指標に年間入館者数を追加する。				

実 施 状 況	項 目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
			事業費等(a)	円	164,268	145,000	
財 源 内 訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円	164,268	145,000			
活 動 指 標	企画展回数	目標	回	3			
		実績	回	3			
	企画展来館者数	目標	人	7,669	6,100		
		実績	人	6,022			
	-	目標	%	100.00	-	-	-
		実績	%	78.52	-	-	-
成 果 指 標	企画展来館者数	目標	%	100	100		
		実績	%	79			
	年間入館者数	目標	人	11,000	12,000		
		実績	人	11,183			
	-	目標	%	101.66	-	-	-
		実績	%	101.66	-	-	-
備 考							

事務事業名	守矢史料館展示事業		事業期間	~	年度	係内番号	08
担当部署	生涯学習部	文化財課	博物館係	(八ヶ岳総合博物館)		連絡先	73-0300

中 評 価	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化					
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)					
	翌年度方向性	成果 コスト				
課長評価日						

事 後 評 価 (C H E C K)	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
	～成果変果動指要標因分～析	平成29年度の企画展時の入館者数は7,669人で、これは、年間4回企画展を行い、企画展期間が長期にわたったためである。平成30年度は29年度より下回ったが、企画展が3回であることによる。					
	総合評価	・企画展を開催することにより、その都度ポスター・チラシを作成し、守矢史料館の存在をアピールすることができた。総入館者数は、昨年入館者10,012人を上回る勢いで入館者数が増加している(H31/3/31現在11,183人)。 ・企画展担当が別施設の担当もしているため、守矢史料館の企画展だけに注力はできない。					
	課題						
改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 (A C T)	翌年度方向性	成果 コスト	現状維持				
	改革やコストの方向性の内容	企画展は都度広報の、ポスター等で開催を周知しており館のピーアールに貢献している。年間入館者数が増加しているため、増加傾向を維持していく。企画展をより魅力ある企画をして複数回行い、広報を行っていく。					

作成担当者	柳川英司				
最終評価責任者	両角勝元				
最終評価年月日	元. 5. 17				

事務事業名	守矢史料館運営事業	事業期間	～	年度	係内番号	11
担当部署	生涯学習部	文化財課	博物館係（八ヶ岳総合博物館）	連絡先	73-0300	

政策番号	02	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度	高
			基本計画①	01	教育大綱	0301	社会教育の推進		
			基本計画②	02	生涯学習推進指針	0000	複数の柱にまたがる事業		
			実行計画	01	社会教育推進計画	0501	神長官守矢史料館の充実		

予算事業名	守矢史料館運営費	会計コード	01	款	10	項	05	目	09	事業	01
-------	----------	-------	----	---	----	---	----	---	----	----	----

事務事業の概要
 (簡潔にわかりやすく)
 守矢史料館を日常的に運営していくために、職員を雇用し、館の運営のために守矢史料館専門委員に活動方針を諮り、来館者の利便のために印刷物を作成し、販売を行う事業。

現状と背景
 (どうして)
 守矢史料館の来館者や地域住民のために、守矢史料館と周辺の歴史への理解を深め、守矢文書と諏訪の歴史を知ってもらうための一助とする。

目的
 受益者 (誰のために)
 来館利用者・地域住民
 対象 (直接働きかける)
 図書を作成し、来館者に働きかける。
 意図 (どんな状態にしたいか)
 来館者や地域住民に図書を販売し、守矢史料館と諏訪の歴史への理解を深めてもらう。

手段・方法
 (どうやって)
 図書を作成し、販売を行う。

評価指標の作成	活動指標	行政が活動することで作り出すもの	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
		1	図書の販売数	冊	守矢史料館展示解説書・周辺案内書等の売上収入	年間の販売数	771
		2		円			
	3						
変更履歴							

評価指標の作成	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		1	図書販売額前年度比	%	今年度の図書販売額/前年度の図書販売額	100
		2				
	変更履歴					

実 施 状 況 （ D O ） 考	項	目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
	財 源 内 訳	事業費等(a)	円	4,101,728	4,607,000				
		国庫支出金	円						
		県支出金	円						
		地方債	円						
		その他特定財源	円	1,354,280	1,252,000				
	活 動 指 標	守矢史料館展示解説書・周辺案内書等の売上収入	目標	冊	771	887			
			実績	冊	887				
			達成率	%	115.05	-	-	-	-
		-	目標	円					
			実績	円					
			達成率	%	-	-	-	-	-
		-	目標	円					
			実績	円					
			達成率	%	-	-	-	-	-
成 果 指 標		図書販売数	目標	%	100	100			
	実績		%	115					
		達成率	%	115.05	-	-	-		
	-	目標	%						
実績		%							
	達成率	%	-	-	-	-	-		
備									

事務事業名	守矢史料館運営事業		事業期間	~	年度	係内番号	11
担当部署	生涯学習部	文化財課	博物館係	(八ヶ岳総合博物館)		連絡先	73-0300

中 評 価	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化					
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)					
	翌年度方向性	成果 コスト				
課長評価日						

事 後 評 価 (C H E C K)	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	成果動向指標要因分析	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度以上の売り上げがあった。 ・入館者数が平成29年度よりも増加しているため、図書購入者が増加している。 				
	総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・刊行物の内容は、諏訪大社と守矢家の歴史に関することであるため、諏訪の歴史に興味のある来館者が増加している。 				
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・入館者が減少すると、図書販売数も減少するので、今年度刊行した、『御渡』の図録のような、新たな刊行物を作成する必要がある。 				
改 善 の 方 向 性 (A C T)	翌年度方向性	成果 コスト	現状維持			
	改革改善の方向性の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者に、図書のアピールをし、販売数が減少しないようにしてゆく。 ・売り切れたら内容を見直し、更新していくことにより、目新しさを出していく。 				

作成担当者	柳川英司				
最終評価責任者	両角勝元				
最終評価年月日	元.5.17				

事務事業名	守矢史料館施設管理事業	事業期間	～	年度	係内番号	07
担当部署	生涯学習部	文化財課	博物館係（八ヶ岳総合博物館）	連絡先	73-0300	

政策 番号	02	基本計画①	01	教育大綱	0301	社会教育の推進	実行計画の 施策の 柱にお ける指 標と の関連 度	中						
		基本計画②	02	生涯学習推進指針	0000	複数の柱にまたがる事業								
		実行計画	01	社会教育推進計画	0501	神長官守矢史料館の充実								
		項目	計画CD	計画名称	施策の 柱CD	施策の柱の名称								
計	予 算 事 業 名	守矢史料館施設管理事業費			会計コード	01	款	10	項	05	目	09	事業	03
画	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	史料館の維持管理、特に守矢史料の保管管理と守矢史料館周辺の借地3,900㎡に植栽されている樹木の管理と、館前庭の芝管理に関わる事業。												
P L A	現状と背景 (どうして)	守矢史料館に收藏されている古文書の保護・保存を図るために、收藏庫等の燻蒸を行うことで古文書を虫害から守る。史料館周辺の植栽管理を行うことで、管理地の整備ができ荒廃化が避けられる。												
	目的	受益者 (誰のために)	来館利用者											
		対象 (直接働きかける)	史料館に收藏されている資料を対象。管理受託者に働きかける。											
	意 図 (どんな状態にしたいか)	寄託されている古文書の防虫、防カビを行う。借地を整然とした状態で維持したい。												
手段・方法 (どうやって)	くん蒸作業を行い、古文書とその周辺の殺虫、殺カビを行う。周辺の植栽管理は、業者に委託し、保全していく。													
N A	評価 指標 の 作 成	行政が活動することで作り出すもの	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
		1 燻蒸面積	燻蒸面積	㎡	年間燻蒸面積				70					
		2 整備実施面積	整備実施面積	㎡	借地面積				3,900					
	3													
	変更 履歴													
	成果 指標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
1 実施された割合	燻蒸面積率	%	年間燻蒸面積／展示室・收藏庫面積				100							
2 実施された割合	周辺整備率	%	当年度整備面積／前年度整備面積				100							
変更 履歴														

実 施 状 況 D O 備 考	項 目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
	事業費等(a)	円	2,554,242	2,738,000				
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円	2,554,242	2,738,000				
	活動 指標	燻蒸面積	目標	㎡	80	80		
			実績	㎡	40			
		達成率	%	50.00	-	-	-	
		整備実施面積	目標	㎡	3,900	3,900		
			実績	㎡	3,900			
達成率		%	100.00	-	-	-		
-	目標	-						
	実績	-						
達成率	%	-	-	-	-			
成果 指標	燻蒸面積率	目標	%	100	100			
		実績	%	57				
	達成率	%	57.14	-	-	-		
	周辺整備率	目標	%	100	100			
実績		%	100					
達成率	%	100.00	-	-	-			
備考								

事務事業名	守矢史料館施設管理事業		事業期間	~	年度	係内番号	07
担当部署	生涯学習部	文化財課	博物館係	(八ヶ岳総合博物館)		連絡先	73-0300

事業 評価	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化					
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)					
	翌年度方向性	成果 コスト				
課長評価日						

事業 後 評価 価値 (CHECK)	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	成果要因分析	・燻蒸は、全館燻蒸ではなく、特に史料を保存する部分燻蒸としているので、面積は減じている。				
	総合評価	・燻蒸を行ったため、カビの発生、虫の被害は見られない。 ・草刈や庭木の周辺養生を行い、景観は保たれた。庭木に枯れ木は見られない。				
	課題	・庭木に古木が多く、かなり内部が空洞化しているものがあり、保全が厳しいものがある。 ・守矢家庭園の池石がだいぶ沈んでおり、放置しておく、池に転がり落ちる可能性がある。				
改革・改善の方向性(ACIT)	成果やコストの方向性の内容	基本的には、守矢史料館周辺の景観保全のために、庭木などの養生と草刈りを行っていく。 燻蒸は、展示室と収蔵庫を効果的に行うよう1年毎交互に実施。これを継続する。 池石は池に転がり落ちる前に予算を確保して保全したい。				
改革・改善の方向性(ACIT)	成果やコストの方向性の内容	現状維持				
改革・改善の方向性(ACIT)	成果やコストの方向性の内容	現状維持				

作成担当者	柳川英司				
最終評価責任者	両角勝元				
最終評価年月日	元.5.17				